



北九州の企業人による 小学校応援団



北九州の企業人が明日を担う子どもたちを応援します。

—— 子どもたちの未来のため、一緒に応援してください ——

小学校応援団発足

子どもたちの健全な育成を図るうえで、特にその後の人間形成の基礎がつくられる小学校の時代は非常に重要な時期です。将来を担うのは自分たちであることを自覚し、学ぶこと、働くこと、支えあうこと、ルール・マナーを守ることの大切さや、困難に立ち向かう勇気や努力の尊さなどを感じ取り、今自分たちはどうすべきかを考えさせるとともに、将来に向け、この国や地域のことを考え、職業や社会について興味と関心をもたせ、また自分の未来に向かって夢をもたせるきっかけをつくるのが大切です。

そのためには保護者（PTA）や教職員だけでなく、地域社会をあげて、みんなで心を一にして支えあう環境づくりが必要です。

このようなことから、「北九州の企業人による小学校応援団」は、地元企業が志を持って結束し、小学校を支援することを目的として、平成23年10月に発足し、これまで支援対象校を拡大しながら活動を展開してきました。

各学校からは感謝の言葉をいただいています。

小学校応援団の活動の基本的スタンス

「教育は地域全体で支えていくべきものであるので、地域の一員である企業人としても自分の問題としてその力が発揮できる活動を行い、小学校教育をめぐる諸課題が改善できるよう、子どもたちの健全な成長のための教育に関する環境づくりに息長く取り組むこと」を活動の基本的スタンスとしています。

小学校応援団設立の経緯〔(公財)北九州活性化協議会が設立母体〕

平成21年4月 (公財)北九州活性化協議会(KPEC)が義務教育支援活動研究会を設置

(公財)北九州活性化協議会(KPEC)は、設立20周年を機に、活動の方向の1つに「教育」を掲げ、「義務教育支援活動研究会」を設置。(平成21年4月～平成22年9月)

<趣旨・背景>

子どもの教育をめぐる現状(不登校、モンスターペアレンツ、子どもの学力・社会性の低下等)の中で学校、地域、家庭が対応に苦慮していることから、企業(経営者、従業員)がどのような支援活動を行えるか検討し、実施するため。

平成22年10月 義務教育支援活動の対象を「小学校教育」とする報告書をまとめた。

<理由>能動的・内発的な学習意欲が中学校になるとだんだん低下していること、学力は全国平均を下回っていること(小学生、中学生とも)、また小学校時代は、その後の人間形成の基礎がつくられる時期であり、このような時期にこそ、学習意欲や規範意識の維持・向上を図り、強い心を育む必要があること。

平成23年10月27日 小学校応援団が発足



小学校応援団の活動

小学校応援団は、①児童向け出前授業、②教職員向け研修、③保護者（PTA）向け研修、更には④親学の奨励、⑤PTA活動の支援（保護者のPTA総会への参加促進・役員就任支援等）などに取り組んでいます。

このような小学校応援団の活動について北九州市は、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市教育大綱」において、連携して取り組むということを位置付けています。

1. 「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」への位置づけ （平成27年10月）

*市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組の推進

事業名等	概要
経済界との連携による学校支援事業	企業がもつ人材や経営のノウハウなどを学校教育に生かすため、地元企業を中心とした「北九州の企業人による小学校応援団」と連携しながら、学校支援を行う仕組みづくりを実施する。

2. 「北九州市教育大綱(子どもたちのシビックプライドの醸成)」への位置づけ

○小学校応援団など企業と連携した取組みの推進 （平成27年11月）

本市では、経済界から小学校応援団を作ろうとのご提案があり、企業が子どもの教育に参画していただく仕組みができています。小学校応援団には多数の地元企業が参画し、出前授業や体験学習、工場見学の受入などの支援を行っていただいています。本市が誇るこの取組みをさらに推進するなど、企業の皆様との連携を一層深める取組を進めます。

*シビックプライド:市民が自分の住んでいる、働いているまちに対して「誇り」や「愛着」を持ち、自らもこのまちを形成している1人であるという認識をもつとともに、自分たちのまちづくりに自発的に関わりたいという意識をもつこと。

活動実績

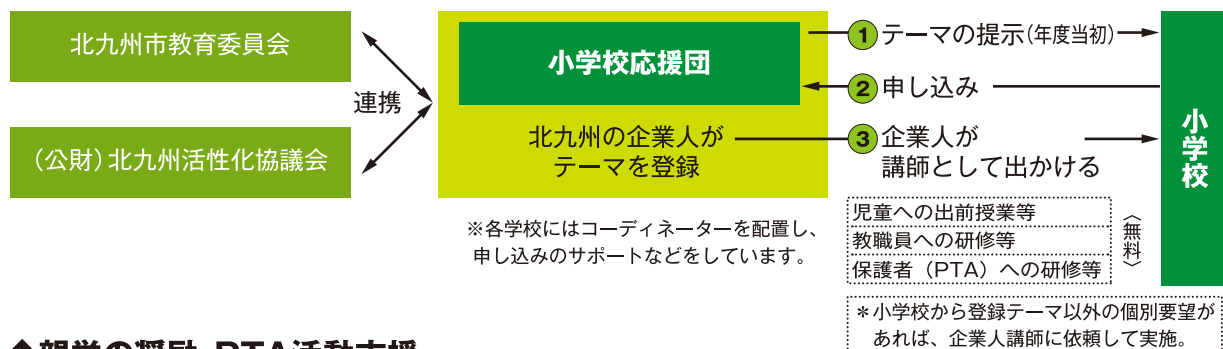
◆出前授業・研修

〈支援対象小学校の拡大状況と実績〉

平成24年度から支援活動を開始しましたが、出前授業と研修については、当初は、11校を支援対象モデル校とし、その後年度計画で支援対象校を拡大してきました。最近の支援対象学校数と実績は次のとおりです。

年度	26	27	28	29
支援対象学校数	40	70	100	131 ※全小学校
出前授業・研修の件数 (小学校応援団受付分)	99	129	203	212

出前授業・研修の仕組み



◆親学の奨励、PTA活動支援

- ・保護者（PTA）向け研修
- ・子どもを育てる10か条の出前講演（北九州市教育委員会）の受講呼びかけ
- ・PTA総会への参加呼びかけ（市内全小学校の保護者、小学校応援団参加協力企業の従業員（保護者））など

平成29年度 実施テーマなどの状況

ジャンル	テーマ	企業・団体名	件数
出前授業（小学校応援団受付）			
環境	けんこうなくらしと水のかかわり	TOTO(株)	1
	人々の健康や地球環境を考える小学生石けん教室	シャボン玉石けん(株)	3
	ごみのリサイクル	光進工業(株)	1
	ごみをしげんにかえるしくみ(4年社会科「ごみはどこへ」と連動)	新日鉄住金エンジニアリング(株)	2
	環境(地球温暖化、資源の可採年数など)	西部ガス(株)	1
	燃料電池教室	西部ガス(株)	3
	水辺の多様な命と自然の恵みを守ろう	三井住友海上火災保険(株)	1
	生ごみのリサイクル～環境にやさしいしくみ～	楽しい(株) アサヒカルピスウェルネス(株)	1
道徳	ルール、挨拶、マナー、言葉づかい	(株)ケイ・ピー・エス	10
	大型紙芝居による情操教育「はくぞう座」の出前公演	(株)SP-Link	6
	高齢者の疑似体験を通じて高齢者や高齢社会について考える	公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会	11
	「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会	9
	「解釈のちから」で学ぶ法教育	福岡県司法書士会 北九州支部	4
道徳・コミュニケーション	笑顔が生まれるコミュニケーション	(株)ニッソー	4
社会	地域に貢献するタクシー業	明交運輸協同組合	1
	社会のお金の流れと銀行の役割「銀行ってなんだろう」	(株)福岡銀行	1
	住み良いまちづくり「歩いて、見つけて、地図にしよう」	(株)ゼンリン	4
	食の安全・安心「食品を安心して食べてもらうための企業努力」	(株)かば田食品	1
	お葬式のマナー(冠婚葬祭のマナー)	(株)サンレー	1
	薬物乱用防止、くすりの正しい使い方	公益社団法人 北九州市薬剤師会	1
社会・職業	レゴブロックを使った設計体験	新日鉄住金エンジニアリング(株) NSプラント設計(株)	13
	自分をいかせる職業分野を知ろう	(株)夢をかなえる研究所	4
	パティシエの仕事	(有)こうのとりに	8
	保育士の仕事	北九州市保育士会	11
	自衛隊について(災害派遣)	自衛隊	4
食育	カレーは食の宝石箱だ	新九協同(株) (瑠璃ズキッチン)	2
生活・健康	食中毒の予防について	(株)イーベック貿易	1
	「子供の運動能力と健康 ～皆で楽しくフィットネス体操～」	(株)イーベック貿易	2
理科	科学する心の啓発(郷土が生んだ偉人・藤田博士の業績を学ぶ)	藤田記念会	5
理科	磁石教室(磁石を利用したひびの見つけ方)	計測検査(株)	1
体育	走り方教室	実業団陸上部(黒崎播磨(株)、(株)安川電機)及びOB会(北実会)	58
国語	話し方・朗読について	元 NHK アナウンサー	10
職業	〈職業インタビュー〉 エンジニア(新日鉄住金エンジニアリング(株))、音楽家(公益財団法人北九州市芸術文化振興財団)、サッカー選手(株)ギラヴァンツ北九州)、獣医(北九州市どうぶつ公園協会)、タクシー運転手(有)戸根タクシー)、保育士(北九州市保育士会) 〈キャリア教育〉アナウンサー(元NHKアナウンサー)(2)、エンジニア(新日鉄住金エンジニアリング(株))(2)、保育士(北九州市保育士会)		11
見学（小学校応援団受付）			
社会	デパート探検	(株)井筒屋	1
	TOTO ミュージアム見学	TOTO (株)	1

ジャンル	テーマ	企業・団体名	件数
教職員研修（小学校応援団受付分）			
	お客様対応「クレームとCS（顧客満足）対応」	TOTO（株）	3
	接遇、ビジネスマナー、電話対応、クレーム対応	（株）ケイ・ビー・エス	6
	リスクマネジメント研修（災害時の教師、親としての対応）	トップ保険サービス（株）	2
保護者（PTA）研修（小学校応援団受付分）			
	子どもが伸びるコーチング（楽しいコミュニケーション術）	（有）コ・リード	2
	「いのちの大切さ」	公益社団法人 誕生学協会	1
企業直接申込み（窓口紹介）（児童向け）			
	「交通安全教室」	西鉄バス北九州（株）	7
	「太刀浦コンテナターミナル見学」	関門コンテナターミナル（株）	3

平成29年度 出前授業を実施した小学校からの感想（抜粋）

体育 走り方教室

実業団陸上部（黒崎播磨（株）、（株）安川電機）、北実会

- ・45分の実技と解説の後、休憩をはさんで50mの記録をとったところ、半数以上の児童が4月下旬に計測したタイムより伸びていた。
- ・何も指導せずにスタートさせた時と、指導後にスタートさせた時の違いを体感させることができたことはよかった。
- ・腕の振り方などはおさなりになりがちであるが、大切な動きであることが理解できたようであった。特に、きつくなったら腕を振ることを意識するという点は、運動が苦手な児童にとって心強い言葉であったと思われる。
- ・陸上記録会へ向けて基礎的な練習をどのように行えばよいか、教師にとってもよい研修になった。

<児童の感想>

- ・4月に計った50m走のタイムより、1秒以上早くなっていたのでうれしかった。スタートでは、重心を前にして飛び出すようにすることがわかった。



道徳 高齢者の疑似体験を通じて高齢者や高齢社会について考える

公益社団法人 北九州高齢者福祉事業協会

- ・総合的な学習の時間や国語科の学習で福祉について調べ学習をしていたが、実際に体験を通してより理解が深まった。子どもたちの学習後の感想には、車いすを動かすときや白杖について歩くときは怖かった、その人の気持ちがよくわかったという意見が多く、障害をもった方、高齢者の方の気持ちがわかり、これから自分にできることを考えていこうという意見が多くあった。
- ・将来の職業を考えるきっかけにもなった。「介護=きつい仕事」ではなく、やりがいのあるすばらしい仕事なんだと感想をもった児童もいた。



道徳 ルール、挨拶、マナー、言葉づかい

（株）ケイ・ビー・エス

- ・国語の敬語の学習をしているところであったので、改めて敬語を正しく使うことの大切さを伝えていただき、学習が深まることとなった。
- ・マナー違反の行動を写真で具体的にを見せていただくことで、子どもたちはマナー違反のかっこ悪さを実感することができた。
- ・礼の仕方に複数の種類があることを教えていただきよかった。その日の帰りのあいさつでは、子どもたちの「30度のあいさつをしようね」と声を掛け合っている姿が見られ、学習したことが実生活に活かされている様子であった。
- ・担任が言うよりプロの講師の方に来ていただくことが、子どもたちの意識も高まるのだと感じた。
- ・学習の最後に「次来るのはいつですか。」と子どもが言っていたのは、今回の授業が価値あるものであったことの表れだと思った。

職業 職業インタビュー

エンジニア、音楽家、サッカー選手、獣医、タクシー運転手、保育士

- ・職業インタビューありがとうございました。私の夢はちがうけど講師の方のように努力して夢をかなえたいです。
- ・質問に答えてくれてありがとうございました。ぼくはけんちくかを目指しているからうれしかったです。
- ・東京スカイツリーやいろいろな有名なもの一部の設計をしていると聞いておどろきました。



社会・職業 レゴブロックを使った設計体験

新日鉄住金エンジニアリング(株)、NSプラント設計(株)

・講師の「会社では、授業でやったことと同じことをしている。みんな力であわせ、知恵を出し合いながら一つのものをつくっていく。そういう仕事をしている。」という言葉が非常に印象的だった。小学校の学習でも対話的な活動を取り入れている。今やっていることが将来にもつながっていくことを身をもって体験することができた。本当の意味でキャリア教育だと感じた。
・「話し合いをリードできる人は、これから会社や企業のリーダーになれる。」という講師のお話がとても児童の心に残ったようである。

社会・職業 保育士の仕事

北九州市保育士会

・2学期の総合的な学習「保育士体験」を経験する前に保育士さんから仕事のこと、園児のことを聞く機会にさせてもらった。
・保育園での子どもたちの様子や先生たちの動きがビデオを通してよくわかった。手遊び等も教えていただいた。保育園は大切な就業前教育だとわかった。

環境 ごみのリサイクル

光進工業(株)

・子ども達は実際にリサイクルされているものの実物を見たり、触ったりして、今社会科で学んでいることを実際に体験、経験できたことに喜びを感じていた。
・リサイクルの仕組みや、今企業などで取り組んでいることを丁寧に指導していただいた。クイズや考えを話し合う場の工夫などもあって、どの子もわかりやすく進んで取り組んでいた。

道徳 いのちの大切さ

公益社団法人 誕生学協会

・理科の学習内容と重なり、「生命のつながり」という面からも、しっかりと理解することができたと思う。外部からの講師の先生のお話は新鮮で、興味関心意欲を高めることにつながったと思う。
・授業後相手に対して優しく接する姿が増えたように思う。

<児童の感想>

・お母さんがどんなに大変な思いをして生んでくれたのかよくわかりうれしかった。



環境 ごみをしげんにかえるしくみ(4年社会科「ごみはどこへ」と運動)

新日鉄住金エンジニアリング(株)

・社会科見学の直前でとてもタイムリーな内容でよかった。
<児童の感想>
・ごみを減らす方法を考えていきたい。
・ごみからいろいろな資源ができることがわかった。
・ごみが無くなることはないので、ごみから資源ができる方法をこれからも考えていくと良いと思う。

環境 燃料電池教室

西部ガス(株)

・授業後の児童の感想から、燃料電池の仕組みに大変興味をもったことがわかった。

<児童の感想>

・液体窒素に水分をふくんだ物を入れると固まることがわかった。知らなかった事をたくさん知る事が出来てよかった。

環境 水辺の多様な命と自然の恵みを守ろう

三井住友海上火災保険(株)

・社会科「食糧生産を支える人々」の学習や総合的な学習の時間で行った田植えともつながりがあり、児童は水辺に生きる多様な生物が、実は自分たちの生活とかかわりがあることを学ぶことができた。

<児童の感想>

・生き物を大切にすると、安全でおいしい米ができることにつながるということがわかった。

道徳 大型紙芝居による情操教育(「はくぞう座」の出前公演)

(株)SP-Link

・臨場感のある紙芝居に子どもたちは引きつけられ、物語の世界に入り込み、とても楽しく学習に取り組むことができた。
・地域の身近なところにある長崎街道を何百年も昔に象が歩いたということに子どもたちは驚き、その歴史に興味を持ったようである。
・郷土の歴史に関心をもつきっかけになった子どももいた。
・劇を取り入れた紙芝居を子どもたちもやってみたくと話していた。



道徳 「解釈のちから」で学ぶ法教育

福岡県司法書士会 北九州支部

・子どもたちとのやり取りを交えながらの授業であった。何かを判断しなければならないとき、ただ何となくという判断ではなく、色々な方面から考え根拠をもって判断しなければならないこと、他者の意見にも耳を傾け、自分の考えを再構築することの大切さを学ぶことができた。



道徳・コミュニケーション 笑顔が生まれるコミュニケーション

(株)ニットー

・電話での対応を実践したり、コミュニケーションカードを使ってゲームをしながら学んだり具体的な活動が多く、「相手の気持ちになって対応する大切さがわかった」などの意見が出て、子どもたちにとって大変理解しやすい授業であった。

<児童の感想>

・表情や言い方によって伝わり方が違うことを学んだ。卒業まであと半年なので笑顔で卒業できるようにしたい。



社会 冠婚葬祭のマナー

(株)サンレー

・葬儀における正しいマナーをはじめ、人がなぜ生まれてくるのかなど奥深いお話をきくことができた。

<児童の感想>

・「冠婚葬祭」という言葉を初めて知った。たった4つの言葉にたくさんの意味があることに驚いた。



社会 住み良いまちづくり「歩いて、見つけて、地図にしよう」

(株)ゼンリン

・北九州の地図をグループで見て色々なマークを探す授業に生き生きと取り組むことができた。3年生になり初めての地図の学習だったが、絵地図を作った後、もっと簡単でわかりやすい地図の作り方があることを知り、大変役に立った。

社会 薬物乱用防止、くすりの正しい使い方

公益社団法人 北九州市薬剤師会

・児童は、よいこと悪いことの判断をしっかりと、嫌なことは断る勇気をもって学校生活を楽しむことが大事だということが今回の授業でよくわかったと思う。

社会・職業 自分をいかせる職業分野を知ろう

(株)夢をかなえる研究所

・今回の授業を通して、今まで考えたこともなかった職業について興味をもち、意欲的に調べる児童が増えたことは有意義であったと思う。また、「夢がない」と言っていた児童が、将来の仕事に対して意識が高まったこともうれしい変化だった。

国語 話し方・朗読について

元NHKアナウンサー

・児童は自分たちで読む工夫をしたり、進んで練習をしたりするようになった。

・子どもたちは「話すこと」よりも「聞くこと」の方が難しいと聞いて驚いた様子であったが、講師の話聞く中でどうしてなのか理解することができたように感じた。

<児童の感想>

・発声練習の時によく言っている「あえいうえおあお」の順番がなぜこうなっているのかが分かって面白かった。

・わたしはときどき1年生と昼休み交流している。今日学んだことを絵本の読み聞かせをするときに活かしたいと思う。



社会・職業 パティシエの仕事

(有)こうのとり

・「ケーキを食べるときにお客様の喜ぶ様子を想定しながら作業を丁寧にしている。」の言葉や、「はじめはぶきっちょでケーキづくりに向いてなかったけど、店を持ちたいという願いから、我慢して頑張ってやっとここまでやってこれた。」「失敗しても諦めずにチャレンジしてください。」と話す講師に子どもたちは励まされたようだった。

・パティシエらしく、白い作業着と帽子をかぶって授業をする講師の様子から「パティシエの仕事」の素晴らしさを子どもたちは感じることができた。



食育 カレーは食の宝石箱だ

新九協同(株)(瑠璃ズキッチン)

・大変おいしいカレーをいただき、児童は「工夫次第で苦手なものも克服できる。」ことを学ぶことができた。

<児童の感想>

・「人+良=食=命」ということの意味を考えることができた。食べるということは、人に良いことがあって命を支えているということを学べた。

・「食べ物は命のすぐ傍にあるので、これから食べ物大切にしましょう。」という話が心に残った。

・これから自分も、嫌いな食べ物をどうやったら食べられるかを考えようと思った。



平成29年度 見学を実施した小学校からの感想(抜粋)

社会 デパート探検

(株)井筒屋

・ ゆっくりと大きな声で説明していただき、大変わかりやすかった。

<児童の感想>

- ・ 保安室のみなさんが24時間、井筒屋のみんなの安全を守ってくれるので、みんなが楽しく買い物ができるということが分かった。
- ・ また行きたい。



社会 TOTOミュージアム見学

TOTO(株)

・ 児童の小さなつぶやきや質問にも丁寧に応えていただき感謝しています。

<児童の感想>

- ・ 昔のトイレを見ることができうれしかった。
- ・ 赤ちゃんやお相撲さんのトイレがあるなんてすごいと思った。また行きたい。



平成29年度 教職員・保護者(PTA)研修を実施した小学校からの感想(抜粋)

教職員研修

接遇、ビジネスマナー、電話対応、クレーム対応

(株)ケイ・ピー・エス

- ・ 「教師たる前に社会人たれ」ということで、学校現場と一般企業との違いを含めながら話をしていただいた。
- ・ 特に若い教諭にとっては一つひとつが勉強になる内容であった。
- ・ 言葉遣いの実践をしたが、なかなか適切な言葉を使うことができず、戸惑う場面が多く見られた。言葉遣いの難しさを改めて感じることができた。
- ・ TPOにあわせた服装やONとOFFを意識した服装を心がけることの大切さを学んだ。
- ・ 次年度も是非研修を要望したい。



教職員研修

お客様対応「クレームとCS(顧客満足)対応」

TOTO(株)

- ・ 若い教員が多いため大変役に立つ研修となった。

保護者研修

子どもが伸びるコーチング(楽しいコミュニケーション術)

(有)コ・リード

- ・ 学校の人権講演会と家庭教育学級の共催で今回の講演会を行ったが、内容に関しては大変興味深いものであった。(昨年度に引き続き実施)



教職員研修

リスクマネジメント研修(災害時の教師、親としての対応)

トップ保険サービス(株)

- ・ 先生方はこのような研修を受けたことがなく、非常に困惑していた。研修後には、「すべてのことに判断を下すことはむずかかった」、「情報は集まるがどのように書きとめ、どのように活かしていくかが難しかった」という意見が聞かれた。この研修をもとに今後もリスクマネジメントの研修を深めていきたい。



保護者研修

いのちの大切さ

公益社団法人 誕生学協会

<参加者の感想>

- ・ 娘が生まれた日を昨日のこのように思い出した。またあのころの自分の気持ちを思い出せてよかった。
- ・ おなかにいる時に動くだけで感動して優しく声をかけていたことを思い出し、今日だけは怒らずに優しくしたい。また講師のお話を聞く機会があれば願っている。



小学校応援団へのご参加をお願いいたします。

- ① 参加にあたってのご負担はありません。
- ② 小学校応援団参加企業としてお願いしたいこと。
 ※従業員の皆様(児童の保護者の方)のPTA活動への参加や親学(親の役割とあり方の学習)推進活動への参加など。

◆子育て・親育ちのための「北九州市 子どもを育てる10か条」

今日から一歩、毎日ひとこと、明日が変わる。みんなで取り組もう「北九州市の子育てルール」。

<p>朝は明るく笑顔で「おはよう」 朝の挨拶から始まる親子の会話、地域の絆。大切ですね。</p> <p>家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」 親しい仲ほど、忘れがちな言葉。素直な気持ち、伝えよう。</p> <p>子育ては誉める・叱る・見守る・抱きしめる どれかひとつが欠けても、うまくいきません。</p> <p>聞く時は子どもの目を見て心を聴いて 心の中の「本当の声」に、気付いていますか？</p>	<p>食事が楽しみな家庭にしよう いっしょがうれしい。愛情がおいしい。</p> <p>大切にしたい物より体験 お金では買えない「体験」を、子どもの時から。</p> <p>まず親がきちんと実行 社会のルール 親の背を見て子は育つ、と申しますから。</p> <p>声かけて地域の宝子どもたち 誉めたり叱ったり認めたり。わが子と同じ愛情もって。</p>	<p>教えよう平和といのちと助けあい 世界の話、地球のいのち、いっしょに考えよう。</p> <p>子どもと夢を語り合おう 夢を持つ、実現しようがんばる。成長の原点です。</p> <p style="text-align: right;">(北九州市教育委員会)</p> <p style="text-align: right;">【北九州市教育委員会では、「子どもを育てる10か条」の 出前講演を行っています。(582-2369)】</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

*小学校応援団への参加とは別に、講師就任についてもご検討いただければ幸いです。

講師としてお話をする相手方は、①児童(出前授業)、②教職員(研修)、③保護者(PTA)(研修)です。

●お話ししていただきたい内容など

*児童へ出前授業で特にお話ししていただきたいテーマは、キャリア教育関係です。

「自社の企業活動の紹介(自社の職業紹介)」、「ものづくり」について、実際に携わっている仕事の内容や日頃からの思いなどについて、貴社が得意としている分野を中心に話していただければと思います。(出前授業を受けた児童の感想も参考にしてください。)

*小学校段階におけるキャリア教育では、社会生活の中での自らの役割や、働くこと、夢を持つことの大切さの理解、興味・関心の幅を広げること等がポイントとなります。

*出前授業をきっかけに自分の可能性に気づくことができればと思います。また地元への誇り、愛着を深めていってもらえればと思います。

●出前授業や研修の進め方はおおむね次のようになります

対象	授業等の進め方など	お話ししていただきたいことなど
児童	<授業時間 45分(1時限)> *事前に担任の先生と打ち合わせることでより充実すると思います。 *授業は、概ね次のような進め方になります。 ・(担任の先生)学習の進め方・めあての確認、講師紹介等(5分) ・(講師)その後20~25分間程度で話をする。 ・質問タイム(担任の先生が児童に促す。又は講師が児童に質問する。) ・(担任の先生)児童による感想の発表など	◆講師の子どものときの夢や気持ち、今の仕事に就くにあたって努力したこと(免許を取るために勉強したなど)、今の仕事での喜び、苦勞・努力していること等。 *授業の際には、写真等をパワーポイントで見せる、児童に簡単な体験をさせる等すると効果的です。また、ゆっくり話すことも大切です。 *児童の感想文には、「ゆっくり話してくれたし、絵もあったのでわかりやすかった。」との記述もありました。
教職員	60分以内(講話40分+質疑10分程度)	・経営者、会社幹部としての体験談(会社経営のポイント(理念)、会社の組織をまとめるために苦勞した話など)、組織運営等について日頃から思っていること。 ・会社が求める人材とは。など
保護者(PTA)	60分以内(講話40分+質疑10分程度)	・社会が求める人材とは、会社が求める人材とは。 ・貴社の人材育成(社員育成)における工夫点(親が子どもを育てることとの共通点・共感点や社員個々の特性を伸ばすための方策等)など

小学校応援団の概要については、下記のホームページをご覧ください。

小学校応援団への参加申込書、講師登録申込書は、ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせ先

北九州の企業人による小学校応援団事務局

北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館6階
 公益財団法人 北九州活性化協議会内

TEL:093-541-3122 / FAX:093-541-0636

Email : info-ouendan@kpec.or.jp ホームページ : <http://www.kpec.or.jp/ouendan/hp/>

小学校応援団

検索